#### 4 施策の実施プログラム

- ○交通施策の実施時期については、<u>計画論的な重要度、期待される整備効果の大きさ</u>を優先性の判断の基本としつつ、
  - ・市の財政状況からみた投資可能時期
  - ・整備計画の具体化や関係機関・地元等との調整・合意に要する時間
  - 本格整備あるいは実施の前に、実験または試行を行うことが適切なもの
  - などの要素を考慮して判断することが必要である。
- 〇なお、実施時期は、最優先で取組むべき短期は概ね5年、将来的な中長期は、中期が概ね 10年程度、長期は10年以降を目安とする。

#### 4.1 施策パッケージ対応のプログラムイメージ

〇施策パッケージ1、3、4は、中長期の実施を睨みつつ、着手可能な施策には短期的に取組み(実験・検討を含む)を開始する。施策パッケージ2(岩国駅のターミナル機能向上)は、交通戦略の先導プロジェクトとして位置付け短期的に推進する。

短期(概ね5年) , 中長期(概ね 10 年程度、10 年以降) 施策パッケージ1 公共交通基幹軸の形 拠点エリア・施設等へのアクセス改 施策の導入可能性、社会実験の成果等 成等による、利便性 善、社会実験や導入検討は短期に着手 を検証し、本格化 と選択性の高い拠点 間連携ネットワーク の強化 施策パッケージ2 中心市街地活性化、公共交通ネ 次世代ターミナルと ットワーク強化を先導するも しての岩国駅・駅前 のとして早期着手 広場の整備 施策パッケージ3 駅周辺地区の歩いて 中心市街地活性化関連、社会実験等は バイパス整備、社会実験の成果等を検 楽しめ、賑わいのあ 早期に着手 証し、本格化 る人重視の交通環境 の形成 施策パッケージ4 市民協働の体制づくり、社会実験等参加者の輪を広げ、市民に定着化 地球環境に優しい交 通を実現するための から着手 多様な取組みの展開 平成24年度 岩国空港の再開 愛宕山・岩国医療センターの開院 交通基盤の整備動向 平成 21~25年 公共交通連携計画に基づく取組みの 平成30年代 岩国大竹道路併用(予定) 実施(玖西・玖北エリアを中心に)

(未定) 岩国南バイパスの柳井方面

への延伸

# 4.2 パッケージ構成施策別のプログラム

○施策パッケージを構成する施策別の実施プログラムは、以下の通りである。

# 施策パッケージ1に係る施策

区分	具体的な施策	短期	中長期
1-1 既存鉄道ネットワークを活用した公共交通基幹軸の形成			
ラインの強化	○南北基幹軸としての山陽本線の 利便性の向上	<b></b> 検討	実施する場合
	○東西基幹軸への新たな公共交通 システム導入の検討	·····································	実施する場合
	○基幹軸形成と連携した岩徳線、錦 川清流線の利便性の向上	順次実施	<b></b>
ノードの強化	○新幹線新岩国駅と錦川清流線等 の結節強化	順次実施	<b></b>
	○南岩国駅の拠点駅としての機能 強化	······ <b>》</b> 検討	実施する場合
	〇南北·東西基幹軸における新駅設 置の検討		実施する場合
1-2 地域間連携に資する幹線道路 の重点的な整備	○岩国大竹道路の整備 ○岩国南バイパス南伸の事業化 ○岩国玖西連絡幹線道路の事業化		<del></del>
1-3 拠点エリア・施設等へのアクセス性の向上			
(1)錦帯橋周辺地区の歩いて楽 しめる交通環境の形成	○最寄り駅との歩行者・自転車アクセスの改善 ○観光パークアンドバスライドの導入 ○歴史的市街地内の歩行者環境の改善	試行	→本格整備
	○空港バスの錦帯橋立寄り・途中下 車方式の導入 ○歩いて楽しめる交通環境形成に 向けた社会実験実施の検討	<b>&gt;</b>	
(2)岩国空港との公共交通アクセスの整備	〇岩国駅とのアクセス確保	バス	
ころの走開	〇空港を中心とした広域的な周遊 ルートの強化	順次実施	<del></del>
(3) 岩国医療センターとの公共 交通アクセスの充実	○最寄り三駅とのバス路線の整備	$\longrightarrow$	
スペンノ とへのルス	○最寄り駅の交通手段間の乗換え 施設の改良	岩国駅	由岩国駅等

1-4 交通手段間連携の強化による 公共交通利便性向上の支援	〇鉄道とバスや自家用車などの端 末交通手段との連携強化	順次実施
	○街なか循環バスなど、路線バスの 利便性向上	<b>→</b>
	○鉄道・バスの総合的な情報提供シ ステムの導入	検討調整 →
	○観光客向けの便利な鉄道・バス共 通乗車券の発行	検討調整 →

# 施策パッケージ2に係る施策

	区分	具体的な施策	短期	中長期
2-1	東西自由通路の設置	〇自由通路と駅舎の一体的な整 備・改良	<b></b>	
2-2	岩国駅の改良	○市民利便施設の設置		
2-3	東西駅前広場の改良	○適切な役割分担と連携の下での 西口、東口広場の再整備		
2-4	駅前の歩行者・自転車環境の 改善	○駅周辺の駐輪場の再整備 ○自転車優先通路としての既存地 下通路の活用 ○周辺街区との連携に向けた調整	<b></b>	

# 施策パッケージ3に係る施策

	区分	具体的な施策	短期	中長期
3-1	バイパス整備等による駅周 辺の自動車交通の分散化	○岩国大竹道路の整備 ○都市計画道路昭和町藤生線の整 備		<b></b>
3-2	街なかの自動車利用の適正 化	〇フリンジ型駐車システムの導入 〇街なかへの自動車流入抑制の強 化	<b>&gt;</b> 試行	本格化
3-3	クルマに対する代替交通サ	○商店街の歩行者空間の魅力化	順次実施	<b>→</b>
ービスの充実	〇国道 188 号、県道岩国停車場線 の歩行者・自転車空間の拡幅		<b></b>	
		○街なか循環バスの運行	······ <b>》</b> 試行	<b>→</b>
		〇街なかでの福祉的な交通サービ スの提供	順次実施	<b></b>

	〇岩国 設置	国駅の改良と市役所前新駅の 1	岩国駅	新駅	<b>~</b>
3-4 街なかを歩い 意識の醸成		辺の歩行者空間拡大等の社  験の実施	<b>&gt;</b>	•	

# 施策パッケージ4に係る施策

	区分	具体的な施策	短期	中長期
4-1	エコカー普及の支援	○公共施設・駐車場等への充電ス テーションの設置 ○電気自動車を用いた公共レンタ カー制度の導入		<b></b>
4-2	賢いクルマの使い方の普及 の支援	○自動車の共同利用・相乗り普及 のための情報変換システムづく り		<b>&gt;</b>
		○駅前広場東口での相乗り車用乗 降場の確保	岩国駅	
4-3	市民や企業参加による交通 意識の改善運動の展開	〇市民ベースでの交通意識・行動 の改善運動の推進		
		○企業ペースでの交通意識・行動 の改善運動の推進	開始	拡大

#### 4.3 公共交通系の主要施策の時間軸上の展開方針

〇本交通戦略の中心的部分である、公共交通ネットワークの強化・利便性向上を中心とした主要施策を抽出し、時間軸上の展開方針をより具体に示すと次ページの図のようになる。

#### < 公共交通系の主要施策の時間軸上の展開方針> 主要施策 短期 (概ね5年) 長期(10年以降) 中期(概ね10年程度) 施策パッケージ 2 | 2-1、2-2 岩国駅の改良 岩国市の公共交通ネットワークの 要の先行的な整備 2-3、2-4 駅前広場等の改善 工事手順としては、 1-3 (2) 岩国空港アクセス 駅改良→広場等整備 施策パッケージ1 1-1(1)山陽本線の利便性向上 計画の検討、関係機関(JR、 事業化 (山陽本線系) 広島県側の行政等)との調整 駅施設等のバリアフリー化やバス乗換え施設の改良など、拠点化に向け順次整備 駅施設等改良計画の検討、調整 1-1(2) 南岩国駅の拠点駅化 計画検討・調整 事業化 1-1(2)岩国~南岩国間新駅 LRT 等の社会実験(新駅含む) (岩徳線、清流線) 1-1 (1) 新たな公共交通システム 軌道システム導入計画の検討(新駅 新たな公共交通システムの実現 (公共交通利用プロモーション兼ねる) 設置位置、システム選択等含む) 1-1 (2) 岩徳線新駅 御庄駅の駅名改称、接続ダイヤ 1-1(2)新岩国駅の接続改善 御庄駅との連絡通路整備、 駅構内のバリアフリー化等(ハード) 調整等(ソフト) 1-1(1)とことこトレインの活用 事業化 (拠点系) 1-3(1) 錦帯橋の交通環境改善 岩国空港アクセスの高速バスの 世界遺産指定、歴史的市街地整備と連動しながら、順次整備 錦帯橋立寄り 各拠点施設への新たな 1-3 拠点施設(空港、医療 路線バス網の整備 センター等)へのアクセス 街なか循環バス導入など 1-4 公共交通手段間連携 路線バスの利便性向上 3-3 街なか循環バス 1-4 鉄道と端末交通の連携 (ソフト系) 玖西・玖北地域の交通連携強化 整備・事業化 強化 (公共交通連携計画による)

本格運用

システム計画検討と調整、試行

(交通情報提供)

1-4 総合交通情報提供、

共通乗車券発行

検討・調整

(社会実験含む)

#### 歩行者・自転車交通系の主要施策の時間軸上の展開方針>

主要施策 短期(概ね5年) 中期(概ね10年) ~ 長期(10年 施策パッケージ1 1-1 (2) 南岩国駅の改良 駅施設等の改良と併車アクセスの本格整 1-3 (1) 錦帯橋の交通環境の 歩行・自転車環境改善も含む 世界遺産指定,歴史的環境整備と連動した歩行・自転車ル	けせた徒歩・自転
車アクセスの本格整	<b>)</b>
1-3 (1) 錦帯橋の交通環境の 歩行・自転車環境改善も含む 世界遺産指定 歴史的環境整備と連動した歩行・自転車ル	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レート整備、
改善観光交通対策の社会実験 レンタサイクル拡充等(順次実施)	
1-4 端未交通手段との連携強化 鉄道駅と結ぶ歩行・自転車ルートの整備(順次実施)	
施策パッケージ 2 2-3 東西駅前広場の整備 駅周辺の駐車場の再整備	
2-4 駅周辺の歩行者・自転車     自転車優先での地下通路活用	
環境	
施策パッケージ3 3-3 自動車の代替サービスの 充実 「麻里布地区あんしん歩行エリア」整備等による歩行・自転車ルートの整備、街なか駐輪場の整備	備等(順次実施) /
3-1 駅周辺の自動車交通分散化 駅前の歩行者空間拡大等の バイパス整備等による駅周辺の自動車交通の分散化	
3-3 自動車の代替サービスの 社会実験	/ Ļ
充実 	30±4+11+
3-4 歩いて楽しむ市民意識の       (首なかの自動車交通	
醸成 <u> </u>	)歩行・日転単空
····································	